

イエス、洗礼を受ける

ルカによる福音 3:15-16、21-22

（そのとき、）民衆はメシアを待ち望んでいて、ヨハネについて、もしかしたら彼がメシアではないかと、皆心の中で考えていた。そこで、ヨハネは皆に向かって言った。「わたしはあなたたちに水で洗礼を授けるが、わたしよりも優れた方が来られる。わたしは、その方の履物のひもを解く値打ちもない。その方は、聖霊と火であなたたちに洗礼をお授けになる。

民衆が皆洗礼を受け、イエスも洗礼を受けて祈っておられると、天が開け、聖霊が鳩のように目に見える姿でイエスの上に降って来た。すると、「あなたはわたしの愛する子、わたしの心に適う者」という声が、天から聞こえた。

説教

わたし個人の好みというか趣味をいうと、時代がかったものは好きなんです。芝居じみたものは趣味ではないんです。きょうの福音は主が洗礼を受けるという箇所ですが、わたしの趣味上の分類で言えばこれは時代がかったものになります。洗礼に関係している似たような聖書箇所では芝居がかっているなあとと思う箇所は使徒言行録の2章になります。

五旬祭の日が来て、一同が一つになって集まっていると、突然、激しい風が吹いて来るような音が天から聞こえ、彼らが座っていた家中に響いた。そして、炎のような舌が分かれ分かれに現れ、一人一人の上にとどまった。2:1-3

このあと多くの人々が異国の言葉を語りだし、ペトロが演説・弁明してその後3000人に洗礼を授けたという話が続きます。ここは新約聖書の中で初めてでてくるキリスト教的洗礼のシーンです。（バプテスマのヨハネがおこなっている洗礼よりあとから来る方＝キリストの洗礼が重要と自分自身でも語っています）

主の洗礼は四福音書で証言されています。ヨハネ福音書ではあいまいな表現になっていますがほかの三つの福音書マタイ・マルコ・ルカでは「天からの声」があったことを証言しています。

あなたはわたしの愛する子、わたしの心に適う者 ルカ 2:22

と天からの声があったという証言です。天の声というのは神の声をさしています。一見芝居がかっているようですが、神の声という点に重きをおけば、わたしの分類では時代がかった方になります。ふつうに考えれば神の子イエスがバプテスマのヨハネから洗礼を受ける必要はないはずですが、マタイ福音書ではそのへんの両人のやりとりが証言されています。

そのとき、イエスが、ガリラヤからヨルダン川のヨハネのところへ来られた。彼から洗礼を受けるためである。ところが、ヨハネは、それを思いとどませようとして言った。「わたしこそ、あなたから洗礼を受けるべきなのに、あなたが、わたしのところへ来られたのですか。」しかし、イエスはお答えになった。「今は、止めないでほしい。正しいことをすべて行うのは、我々にふさわしいことです。」そこで、ヨハネはイエスの言われるとおりにした。 3:13-15

どのような意味のやりとりなのかわかりづらいのですが、両人の間ではやるやらないという対立があったけれど結局イエスがヨハネを押し切ったということはわかります。わたしの好みなんかは聖書理解とはまったく関係ないのですが、このやりとりは芝居じみているなあと感じます。

セカンドチャーチの礼拝でこころがけているのは、礼拝時間を短くすることと礼拝では聖餐を行うことです。時間短縮のために説教は短くすませ、ほかの儀礼的な部分はなるべくはしよらず伝統的におこなっています。洗礼と礼拝は直接的な関係はありませんが、洗礼式という儀礼はわたしたちの教会ではおこないません。キリスト教は洗礼という儀礼を見直す時期にきていると考えるからです。儀礼は形骸化していきます。それは人間が行う事柄ですからしかたのないことです。形骸化するという前提で見直しをすれば、まず洗礼が見直され、つぎに祈祷、聖餐となるのかなあと考えています。

きょうの福音でも、ほかの福音書にも主の洗礼の場面にはマリアは登場しま

せん。かりにマリアがイエスの洗礼の場面に立ち会っていたとしたらどう反応したでしょうか。

母はこれらのことをすべて心に納めていた。ルカ 2:51

これは、先々週のイエスが神殿で迷子になるという場面でのマリアの反応です。もし洗礼を受けるイエスを見て天からの声を耳にしたら、マリアはおそらく「心に納めて」たことと思います。

もしあなたが受洗しているのならば、洗礼を救いの証と見るせよ、洗礼は恵みの証拠と見るにせよ、イエスが受洗したということを心に納め、思い巡らすこととして受け止めましょう。まだ洗礼を受けたことのない人はそのままでもいいかなあ、洗礼を受けようが受けまいが、神の恵みはすべての人に注がれています。そして神を信じるすべての人は救われます。キリスト教は洗礼を入信儀礼とすることを見直す時期にきているので、洗礼にこだわらない姿勢も大切にしてください。
